

電子国土基本情報（仮称）刊行（案）

1. 概要

電子国土基本情報（仮称）は、これまで国土地理院が整備してきた基盤地図情報（2500）、基盤地図情報（25000）、数値地図 2500（空間データ基盤）、数値地図 25000（空間データ基盤）、数値地図 25000（行政界・海岸線）、数値地図 25000（地名・公共施設）の各データならびに数値標高モデル 5 mメッシュ（標高）、数値標高モデル 10mメッシュ（標高）を全て統合した上で、更に詳細な項目を追加したデータである。

電子国土基本情報（仮称）は、2万5千分1地形図と同等の表現が可能であるほか、他の様々な地図の作成や GIS の構築の基となる地図データである。

2. データの仕様

データ項目及び主な属性項目は別紙 1 のとおり

3. 刊行（販売）方法等

- ・刊行（販売）方法 Web 経由のオンライン刊行
- ・整備地域 全国
- ・刊行（販売）単位 2 次メッシュ当たり 170 円（検討中）。利用者の利便性を考慮し、他に市町村や都道府県単位での提供方法について検討中。
- ・データ形式 JPGIS2.1(GML)、シェープファイル

4. その他

- ・簡易表示ソフト（ビューア）を Web で無償提供
- ・別紙 2・・・道路について、全ての道路を「真幅道路縁」データで表示した場合と、間引きした道路を「中心線」データから発生させた 2 条線で表示した場合のイメージ図

電子国土基本情報(仮称)

【提供形態】

刊行方法: Webオンライン
 対象地域: 全国
 ファイル単位: 2次メッシュ
 データ形式: JPGIS2.1 (GML)、shp

【データ項目】

■地図情報（注）

データ項目	データ型	地物例 *1		主な属性 *1
行政区域	面		*2	名称、読み
行政界	線			
行政区域代表点	点			名称、読み
町字界	線			
町字の代表点	点		*3	名称
街区区域	面			街区符号
街区界	線			
街区の代表点	点			街区符号
道路縁	線		*4	(基図縮尺)
道路構成線	線	中央分離帯等		
道路中心線	線		*5	(路線コード)、(路線名)、(通称)、(管理主体)、種別、幅員、有料、トンネル等、(分離帯)、(区間ID)
鉄道中心線	線		*6	(路線名)、(管理主体)、(駅名)、トンネル等
交通施設	点	(踏切)		
	線	トンネルロ		
	面	プラットフォーム、雪覆い		
建築物	面			(名称)
建築物の外周線	線			(名称)
建物等記号	点			(名称)
構造物記号	点			(名称)
構造物線	線	高塔、坑口		
構造物面	面	巨大構造物、タンク		
水域	面			(名称)
海岸線	線			(名称)
水涯線	線			(名称)
河川中心線	線			(名称)、(管理主体)、(河川種別)
水部構造物線	線	ダム、せき、水制等		(名称)、(管理主体)
滝(領域)	点			
水部表記線	線	航路の軌跡、流水方向		
特定地区界	線			
公園	面			(名称)、(管理主体)
土地利用記号	点	墓地、植生記号、採鉱地		
測量の基準点	点			(点名称)、等級、標高、(楕円体高)、B、L、等
標高点	点			標高値
等高線	線			標高値
等深線	線			水深値
地形表記面	面	湿地、万年雪等		
地形表記線	線	(土崖)、隠頭岩、干潟界		
地形記号	点	雨裂、砂礫地		
水面標高	点			標高値
水深	点			水深値
注記位置	点		*7	漢字、読み、字列、角度、(全体文字数)、(文字位置)、(文字数)
補助線	線	面を閉じる補助線		対象種別コード

●地名等情報（注）

データ項目	データ型	概要		主な属性
公称地名 (Lv01)	面、点	市町村名の直下の名称	*8	都道府県・市区町村・地域自治区・居住地の名称と読み、種別、外字コード、代表点の経緯度、等
公称地名 (Lv02)	点	Lv01のさらに下位の名称	*9	
通称地名	点	公称以外の名称	*10	
自然地名	点、一部に線または面あり	河川、湖沼、滝、山、岩・洞窟、岬・崎・海岸・浜・磯、島、湾・灘、海峡・水道、峠、高原・平原・湿原、温泉・泉・噴気口		都道府県・市区町村の名称と読み、ローマ字、別称、種別、外字コード、代表点の経緯度、等
公共施設名	点	国の機関、地方の機関、保健所、警察、消防、学校、病院、郵便局、指定公共機関、博物館		名称、住所、代表点の経緯度、等
信号交差点	点			信号交差点コード、経緯度、地点名、対応コード (DRM)、等

▲メッシュ標高情報（注）

ファイル名	データ型			
5mメッシュ(標高)	メッシュ	(整備地域:平野部)		

ファイル名	データ型			
10mメッシュ(標高)	メッシュ	(整備地域:全国)		

ファイル名	データ型			
50mメッシュ(標高)	メッシュ	(整備地域:全国)	*11	

数値地図25000(空間データ
基盤) *12

刊行方法： CD-ROM
対象地域： 全国
ファイル単位： 都道府県
データ形式： JPGIS1.0(JPS)

データ項目	データ型
行政区域	面
行政界	線
道路中心線、施設	ネットワーク
鉄道中心線、施設	ネットワーク
水域	面
水涯線海岸線	線
河川中心線	ネットワーク
三角点、水準点	点
注記位置	点

公共施設	点
メッシュ標高(2秒メッシュ)	メッシュ

*12:地理情報標準対応版(H19年刊行)

数値地図2500(空間データ基盤) *13

刊行方法： CD-ROM
対象地域： 都市計画区域
ファイル単位： 地方
データ形式： JPGIS1.0(JPS)

データ項目		データ型
行政区域		面
行政界		線
街区区域	*14	面
街区界		線
道路線、道路節点		線
鉄道、駅		線
公共建物区域	*14	面
公共建物界		線
水部区域		面
水部界		線
場地区域		
場地区域		
三角点		点
閉合界		

*13:地理情報標準対応版
(平成18年刊行)

*14:一部の地域のみ

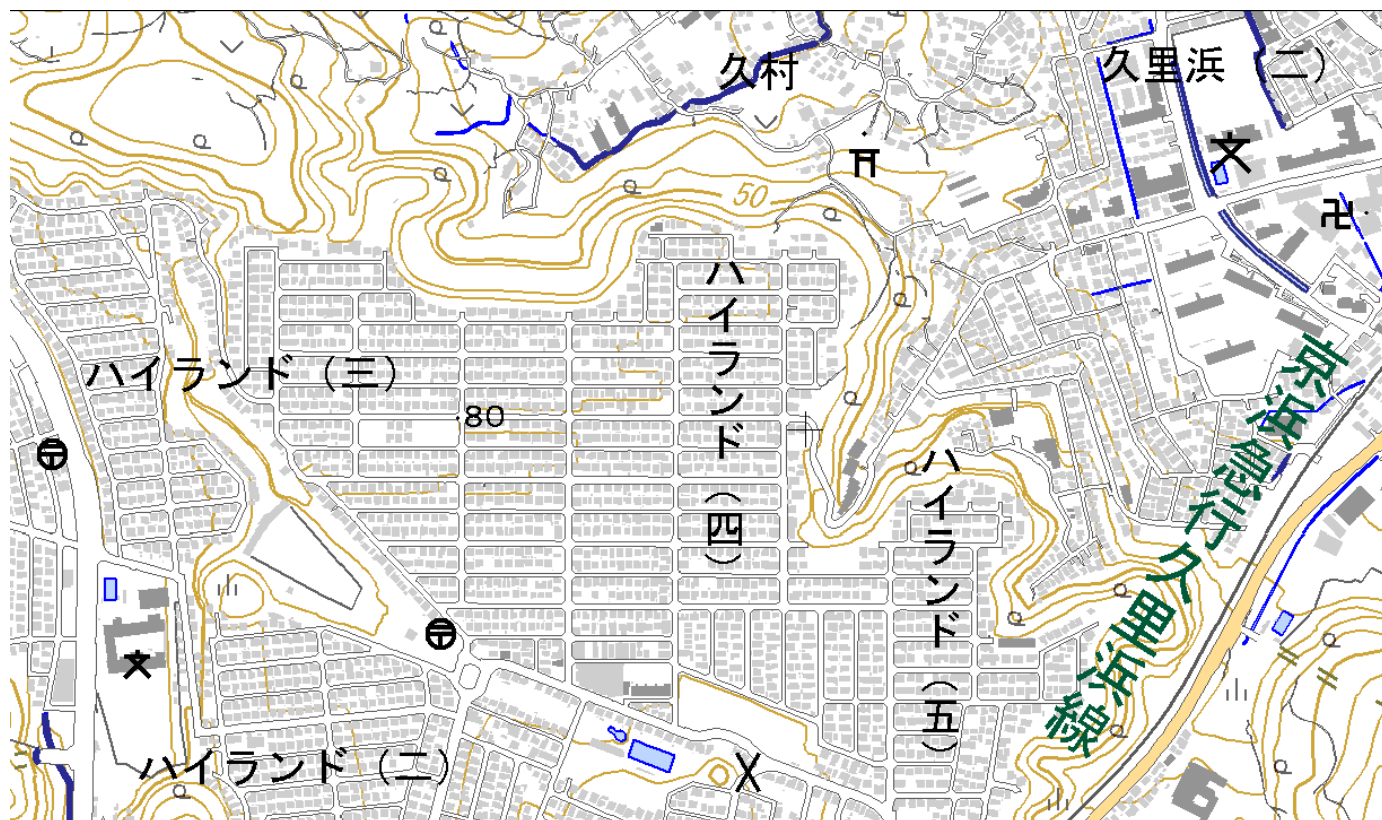
●付属資料(主題情報) (注)

データ項目	データ型			主な属性
送電線	線			
発・変電所	点			(名称)
電波塔	点			
記念碑	点			(名称)
植生界	線、点			
特定地区界	線			
樹木に囲まれた建物	面			

(注)

- 地図情報
- 電子国土基本情報(仮称)の中心をなす基本的な地図情報。地図情報レベルは2500(都市計画区域等)と25000(それ以外)であり、GISにおける位置の基準となるほか、様々な地図作成の基となる。
- 地名等情報
- 地理識別子となる情報
- メッシュ標高情報
- 航空レーザ測量または写真測量によって作成されたDEM
- 付属資料(主題情報)
- 基本項目以外の項目で、目的に応じ重ね合わせて活用可能な情報項目。旧来の2万5千分1地形図の情報に基づいているが、データの確認・更新がなされていないものもある。

- *1: () 書きは今後内容を拡充するもの。一部すでにデータが入っている場合もある。
- *2: 行政区画界線は、①2万5千分1地形図に表示の界線と②都市計画基図に表示の界線の両方がある。行政区画は、①の界線によるもの。
- *3: 都市計画基図が整備されている地域のほとんどについてのみデータがある。
- *4: 都市計画基図が整備されている地域のほとんどと、新規供用等により精度レベル2500以上のデータがある地域については、真幅道路縁。それ以外の地域については、2万5千分1地形図を基にした記号化された道路縁。
- *5: 属性の「種別」は、「高速自動車国道」、「その他の高速道路」、「一般国道」、「その他」の区分。平成25年度に「都道府県道」の区分を追加予定。
- *6: 2万5千分1地形図描画用の鉄道中心線を含む
- *7: 各文字グループは1文字以上の文字から成り、各文字グループの文字表示開始位置の経緯度、表示終了位置の経緯度、文字数で構成される。文字グループの文字数の合計が全体文字数と一致する数だけ記載される。
- *8: 例: ●●市△△一丁目、○○町大字□□
- *9: 例:○○町大字□□字◇◇、◆◆町大字△△小字▼▼
- *10: 公称以外の集落名、自治会名、団地名等
- *11: 10mメッシュ(標高)から作成



全ての道路を「真幅道路縁」データで表示した場合



間引きした道路を「中心線」データから発生させた2条線で表示した場合